

PENインターナショナル 聴覚障害者リーダーシップ サマーキャンプ

講師

David, Gordon & John Hay
(英国ウルバーハンプトン)

イーストサセックス、ハーストマンズー城
2006年8月8日(火)

聴覚障害

および

意思表示

英国の人口



- スコットランド: 510万
- イングランド: 5010万
- ウェールズ: 290万
- 北アイルランド: 170万

総人口:
5980万

英国の聴覚障害者

RNIDによると

(Royal National Institute for Deaf People)

英国では
7人にひとりが
重度聴覚障害から難聴までの
はっきりした聴覚障害をもっている

!!! 860万人 !!!

英国でBSLを使っている聴覚障害者

BDAによると
(British Deaf Association)

英国にはBSLを使っている人
聴覚障害者が50,000人いる

英国でBSLを使っている人

BDAによると
(British Deaf Association)

英国にはBSLを使っている人が
250,000人いる

英国の聴覚障害者教育の現状

96パーセントの聴覚障害児童がメインストリームで教育を受けている

(NDCS)

独立したろう学校は37校

(RAD)

多種のコミュニケーション方法

BSL、手話支援英語、手話英語、キュードスピーチ、口語、口語/聴覚、二カ国語常用、トータルコミュニケーション

英国ろうコミュニティの歴史 (1)

- 1760年 Thomas Braidwoodがエジンバラに世界初の常設ろう学校を設立
- 1830年 Matthew Robert Burnsがエジンバラで世界初の、聴覚障害者が率いる、聴覚障害者のための礼拝を行う
- 1835年 エジンバラで、Alexander Blackwoodが世界初の地域ろう協会を設立

英国ろうコミュニティの歴史(2)

- 1890年 英国で初めて障害者組織が率いる組織、BDDBA結成
- 1980年 教育法
- 1995年 障害差別法
- 2001年 特殊教育障害法
- 2003年 BSLの正式承認

Gordon Hay

- 私は24歳です。両親、そして弟のDavidと同じく、重度聴覚障害です。
- 私は2003年にウルバーハンプトン大学からデジタルメディアと写真の学位を取得しました。
- ガールフレンドのIvanaと一緒にプラハに住んでいます。

Gordonと フロントランナー・プロジェクト

- 去年WFD承認のフロントランナー・プロジェクトのために3ヶ月デンマークに滞在
- 世界中のろうコミュニティから、将来のリーダーが参加
- 米国、ニュージーランド、オーストラリア、ノルウェー、フィンランド、デンマーク、ベルギー、アイルランド、フランスから若者達が参加

フロンランナー・プロジェクト

- フロンランナーは世界聴覚障害者リーダーシップトレーニング・プログラムである
- 各分野で長い経験を積んだ聴覚障害者の専門家が若い学生達を教える
- 講義には主に国際手話が使われる

指導科目

- 国連会議に係る聴覚障害問題
- ろうの歴史
- 手話立法
- 言語少数民族/少数民族としての聴覚障害者
- 世界ろう連盟とその業績について
- フィンランドで開催されたWFD総会での大量虐殺反対キャンペーン

聴覚障害者大量虐殺

- 学生達が選び、議論した主題は聴覚障害者大量虐殺.
- 世界各地で毎日大量虐殺の犠牲になっている聴覚障害者グループに主に焦点を当てる
- 犠牲になっているとは、選択がなくなったことで口語の世界に移らざるをえなくなったということ
- 私たちには自分たちが選び、好む言語、つまり手話を使う権利がある

フロントランナー・プロジェクト

- www.frontblog.dk – 第一回フロントランナー・プロジェクトのウェブサイト。ほとんどの活動が国際手話と英語の両方で説明されている。

第二回フロントランナー・プロジェクトは今年デンマークで開かれる

- www.frontunners.dk – 第二回フロントランナー・プロジェクトに関する情報。

David Hay

参加出来なくて申し訳ないと思っています。

私は今、みなさんのいるところから車で5時間ほどのノッティンガムシャーで開かれているDeafCamp2006の青少年カウンセラーとして働いています。

去年もやった仕事で、今年も来てくれと頼まれたのです。

David Hay

私は21歳です。私は重度聴覚障害者で、誇りに思っています。

私はウルバーハンプトン大学の学生で、資産管理の勉強をしています。

大学では、55人ほどの聴覚障害学生が利用している学生支援の一部として、BSL/英語通訳と筆記によるノートテイキングのサービスを受けています。

Deaf Camp 2005

www.deafcamp.org.uk



ロビン・フッドのくじの中
心、ノッティンガム
シャーで、1週間の間、
キャンプ・カウンセラー
として様々な活動に参
加する40人以上の聴覚
障害の子供達の監督を
します。

チャンネル4のVee TV



去年、私は4ヶ月間契約社員として、チャンネル4のVee TV第5シーズンのジュニアリサーチャーの仕事をしました。

18歳から25歳までの視聴者に適したメインストリームの番組で、BSLが使われています。

英国の若い聴覚障害者にアメリカの若い聴覚障害者がどのように生活しているかを知ってもらうために、NTIDとロチェスターについてリサーチをしました。

BDAの性教育 DVD

ろうコミュニティでのAIDSの増加と闘うための、若い聴覚障害者向けの性教育DVD作成に参加しました。



BDA 聴覚障害青少年労働者 フォーラム UK



私は、2005年9月23日から25日までベルファストで開かれたBDA聴覚障害青少年労働者フォーラム会議で、BDA性教育DVDのワークショップのリーダーを務めました。青少年労働者からDVDの内容について感想を集めました。

2006年ユースキャンプ

- *IUK Deaf Camp 2006*: 北アイルランド
2006年7月24日～30日

聴覚障害者の多様性

- *DeafCamp 2006*: ノッティンガムシャー
2006年8月5日～12日

- *EuroCamp 2006*: ダブリン、エール
2006年8月8日～15日

新しい手話コミュニティを達成する

青少年サービス部門での仕事

NIDYAの青少年コーディネーター

1. NIDYAの青少年戦略を維持し、開発する。
2. 青少年労働者が適切なトレーニングを受け、現行の政策に従うようにする。
3. 青少年サービスと青少年労働者のチームを管理する。

John A Hay

- 生まれたときから聴覚障害
- 職業経歴：
25年間、エジンバラ市議会の建築技術者
5年間、スコットランドでBDAコミュニティと擁護サービスの役人
- 現在：
1998年からウルバーハンプトン大学でろう研究とBSL/英語通訳の上級講師
- 聴覚障害の女性、シャーリーと結婚
- 聴覚障害の息子二人の父親

BDA 見える声プロジェクト

なぜ見える声プロジェクトを実施するのか

- サービスに関しての発言権を高めるため、聴覚障害者に権限を与える
- サービス利用者の諮問グループを要求する
厚生コミュニティ法などの様々な法律を遵守する
- 「人にやってもらう」考え方から離れる

BDA 見える声プロジェクト

- 聴覚障害サービス利用者の地域フォーラムを作る
- 聴覚障害者へのサービス規定に意見を反映させるため、聴覚障害者に権限を与える
- 地域の公共機関、社会福祉サービスや厚生委員会と協力して、聴覚障害者がもっとサービスを利用できるようにする

BDA 見える声プロジェクト

聴覚障害サービス利用者フォーラム

BSL/英語通訳の支援（議会または厚生委員会
が費用提供）

聴覚障害者を含めて、コミュニティへのサービス
提供計画を作る責任を負う役人達も出席

フォーラム会員のトレーニング

- 聴覚障害の認識
- 効果的な手話通訳の利用の仕方
- 自分のため、また他の人のための意見の言い方
- 委員会の手順
- コミュニティの立法
- 地方自治体や厚生サービスの機能

BDA 見える声プロジェクト

フォーラムはどこで設立されているのか

英国の各地で、
BDAコミュニティスタッフを含め、
様々なグループに運営されている

聴覚障害で、意思表明をする

21世紀の現在では、聴覚障害者は過去に比べてもっと意思表明をするようになった。

それはこれらのおかげだ:-

- よりよい教育の機会
- 聴覚障害と聴覚障害者に対する前向きな一般認識
- BSLの一般的受け入れ
- 法律による聴覚障害者の権利保護

聴覚障害で、意思表明をする

手話/話すために招待していただき、PENインターナショナルに感謝しています！

ご覧いただき、ありがとうございました！

今夜はこの後も私たちと楽しみましょう！